



平成26年6月17日

各 位

会社名 日本証券金融株式会社
代表者名 取締役社長 小林 英三
(コード番号 8511 東証第1部)
問合せ先 執行役員総務部長 前田 和宏
(TEL. 03-3666-3184)

(訂正)「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成26年5月12日に公表いたしました「平成26年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします(訂正箇所には下線を付して表示しております)。なお、数値データについては、訂正はありません。

記

I. 訂正の内容

【訂正箇所①】27 ページ

4. 連結財務諸表

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

3 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) (単位:百万円)

【訂正前】

	証券金融業	信託銀行業	不動産賃貸業	合計
営業収益				
外部顧客への営業収益	14,093	2,762	819	17,675
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	60	1	349	411
計	14,154	2,763	1,168	18,086
セグメント利益	1,560	176	441	2,177
セグメント資産	<u>3,663,370</u>	591,266	8,298	<u>4,262,935</u>
その他の項目				
減価償却費	501	109	135	746
特別利益	136	—	29	165
(負ののれん発生益)	(—)	(—)	(—)	(—)
特別損失	119	—	47	166
(合併関連費用)	(—)	(—)	(—)	(—)
(支社移転費用)	(—)	(—)	(—)	(—)
(退職給付費用)	(—)	(—)	(—)	(—)
税金費用	552	80	160	793
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	256	34	506	797

【訂正後】

	証券金融業	信託銀行業	不動産賃貸業	合計
営業収益				
外部顧客への営業収益	14,093	2,762	819	17,675
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	60	1	349	411
計	14,154	2,763	1,168	18,086
セグメント利益	1,560	176	441	2,177
セグメント資産	<u>2,921,288</u>	591,266	8,298	<u>3,520,853</u>
その他の項目				
減価償却費	501	109	135	746
特別利益	136	—	29	165
(負ののれん発生益)	(—)	(—)	(—)	(—)
特別損失	119	—	47	166
(合併関連費用)	(—)	(—)	(—)	(—)
(支社移転費用)	(—)	(—)	(—)	(—)
(退職給付費用)	(—)	(—)	(—)	(—)
税金費用	552	80	160	793
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	256	34	506	797

【訂正箇所②】 28 ページ

- 3 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
当連結会計年度（自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日）（単位：百万円）

【訂正前】

	証券金融業	信託銀行業	不動産賃貸業	合計
営業収益				
外部顧客への営業収益	16,363	2,322	880	19,566
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	28	1	396	426
計	16,392	2,323	1,276	19,992
セグメント利益	2,373	175	502	3,051
セグメント資産	3,223,899	726,860	8,434	3,959,194
その他の項目				
減価償却費	600	100	168	869
特別利益	4,405	—	6	4,411
(負ののれん発生益)	(4,405)	(—)	(—)	(4,405)
特別損失	794	—	15	809
(合併関連費用)	(55)	(—)	(—)	(55)
(支社移転費用)	(525)	(—)	(—)	(525)
(退職給付費用)	(198)	(—)	(—)	(198)
税金費用	291	24	194	510
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	562	<u>411</u>	<u>187</u>	1,161

【訂正後】

	証券金融業	信託銀行業	不動産賃貸業	合計
営業収益				
外部顧客への営業収益	16,363	2,322	880	19,566
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	28	1	396	426
計	16,392	2,323	1,276	19,992
セグメント利益	2,373	175	502	3,051
セグメント資産	3,223,899	726,860	8,434	3,959,194
その他の項目				
減価償却費	600	100	168	869
特別利益	4,405	—	6	4,411
(負ののれん発生益)	(4,405)	(—)	(—)	(4,405)
特別損失	794	—	15	809
(合併関連費用)	(55)	(—)	(—)	(55)
(支社移転費用)	(525)	(—)	(—)	(525)
(退職給付費用)	(198)	(—)	(—)	(198)
税金費用	291	24	194	510
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	562	<u>187</u>	<u>411</u>	1,161

【訂正箇所③】 28 ページ

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

【訂正前】

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	<u>4,262,935</u>	3,959,194
セグメント間の債権の相殺消去	△64,490	△22,029
投資と資本の相殺消去	△26,268	△26,268
その他の調整額	3,361	3,493
連結財務諸表の資産合計	<u>4,175,537</u>	3,914,388

【訂正後】

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	<u>3,520,853</u>	3,959,194
セグメント間の債権の相殺消去	△64,490	△22,029
投資と資本の相殺消去	△26,268	△26,268
その他の調整額	3,361	3,493
連結財務諸表の資産合計	<u>3,433,456</u>	3,914,388

II. 訂正の理由

訂正事項のうち、前連結会計年度のセグメント資産にかかる計上額については、当連結会計年度における「会計方針の変更（貸付有価証券等の計上方法の変更）」に伴う遡及適用を行っております。

以 上